

# 感染状況・医療提供体制の分析(6月2日時点)

【岡山県専門家有志】  
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (5月26日時点)	現在の数値 (6月2日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	554人 (29.3人)	243人 (12.9人)	→	<p>総括コメント</p> <p>レベル5. 感染が広範囲に拡大しており最大限の警戒が必要</p> <p><b>人口10万人当たり12.9人の</b>新規陽性者。新規陽性者数は減少傾向も、60歳以上の新規陽性者数の割合は微増。緊急事態宣言の効果もあり陽性者数は減少も、入院患者数など療養が必要な人の減少には時間を要している。緊急事態宣言の効果の意味あるものにするためにも、引き続き現在の感染対策を継続し、リバウンドしないよう感染者数をより低いレベルまで抑え込むことが必要。</p>
		60歳以上 (総数に占める割合)	146人 (26%)	77人 (32%)	→	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	325人	133人	→	
		県南西部	175人	96人	→	
		高梁・新見	10人	5人	→	
		真庭	7人	1人	→	
	市中潜在・ 感染	③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	200人	89人	
割合 (③/①)			36%	37%	→	
医療提供体制	④入院患者数	286人	254人	→	<p>総括コメント</p> <p>レベル5. 体制が極度に逼迫していると思われる</p>	
	⑤確保病床における入院割合	59%	52%	→	<p>自宅療養者は184人。入院患者数は減少傾向であるが、<b>新規陽性者数の減少に比べると減少は緩徐</b>。新型コロナ以外の病床を削減し対応している病院もあり、手術延期など<b>通常の医療を制限している状況</b>がある。</p>	
	⑥重症者数	31人	18人	→		